

認知症の理解と BPSD ~認知症の理解と周辺症状、介護記録から介護計画立案まで~

認知症とくにアルツハイマー型認知症が世界的に今問題になっています。日本ではすでに認知症の数が 450 万を超えていると発表があり、世界でも 1 億 5 千万人に達していると言われていています。まさに福祉施設における認知症ケアが急務と言えます。特に昨年の改正で総合事業が創設され、その関係性から専門職に課される認知症ケアの重要性がますます増してきています。

このセミナーでは認知症の種類と医学的見解、また認知症の人の心がどのように感じているのかを解説していきます。本人の気持ちを理解した上で BPSD を減少させるにはどうすればよいか考えていき、周辺症状を介護記録にどのように適切に表現していけばよいか、さらに介護計画をどのように組み立てていけばよいか、事例を通じて解説を進めていきます。

これを機に認知症全般の見直しを図ってみませんか。

開講日時	【北九州】(第1回)平成30年3月12日 (第2回)3月22日 【久留米】(第1回)平成30年3月14日 (第2回)3月28日 【熊本】(第1回)平成30年3月16日 (第2回)3月26日 両日とも 10:30~16:00		
講師	白石 均 【福岡シティ福祉サービス代表】		
会場	【熊本】熊本県総合福祉センター【熊本市中央区南千反畑町 3-7】 【北九州】ウェルとばた【北九州市戸畑区汐井町 1-6】 【久留米】石橋文化センター【久留米市野中町 1015】 会場は変更する場合があります		
定員	各 20 名	時間	10 : 30 ~ 16 : 00
受講料	1 回につき 5,000 円		



講師略歴

社会福祉士
福岡シティ福祉サービス代表
社団法人・日本社会福祉士会会員
福岡市介護認定審査会委員

◆受講内容

第1回目

【認知症について】

中核症状と周辺症状

食事・排泄・入浴のケアについて

認知症を抱える家族の心理とケアについて

エリクソン生涯発達理論と見当識障害の関係

BPSD と基本的欲求

バリデーションの5つのステージ

【認知症における介護記録】

・介護記録の意義・目的

・BPSD の説明を聞く家族の思い

第2回目

【介護記録のつづき】

・記録の書き方の基本

・好ましくない記録の例

・BPSD における介護記録例

【周辺症状と介護計画】

・介護計画書作成のねらいと重要性について

・介護計画書作成において大切な事

・不適切な表現例で学ぶ！適切な表現

・介護計画書記載に入れてほしい表現について

1968年6月20日 岡山県生まれ
近畿大学大学院・産業技術研究科
修了後、大手学習塾にて講師・教
務に携わる。

1998年以降13年間、ケアプラン
センターにて給付管理業務、有料
老人ホーム・デイサービスセンタ
ーにて生活相談業務、介護保険請
求業務に携わる。

2012年5月、福岡シティ福祉サ
ービス設立。介護請求代行・職員
研修を主な業務としている。
業務経験談を交えた講義はレジ
ュメとともに分かりやすいと定
評がある。

【主な実績】

- ・通所介護&リハ
- ・ケアマネジメント(日総研)
以上執筆
- ・職員研修(社協)など

セミナー内容は前後する場合があります。

●お申込み・お問合せ●

申込フォーム、E-Mail、お電話などでお申し込みください。

ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

福岡シティ福祉サービス

~(株)東京シティ福祉サービスフランチャイズ加盟店~

〒819-0005 福岡市西区内浜 114-13 カイザー姪浜 201

Tel 092-883-9144 Fax 092-883-1142 E-mail: fukuoka-fukushi@pro.odn.ne.jp



FUKUOKA CITY
WELFARE SERVICE